


# 1 実行戦略の基本的方向

## 1-1 実行戦略の考え方

### 1) 自転車先進都市としてのコンセプト

本実行戦略の策定時において、岡山市における自転車利用にかかわる現況の問題点等を踏まえ、コンセプトを以下のように設定した。

誰もが自転車を  
“安全”で“便利”に“楽しく”  
使うことが出来る都市



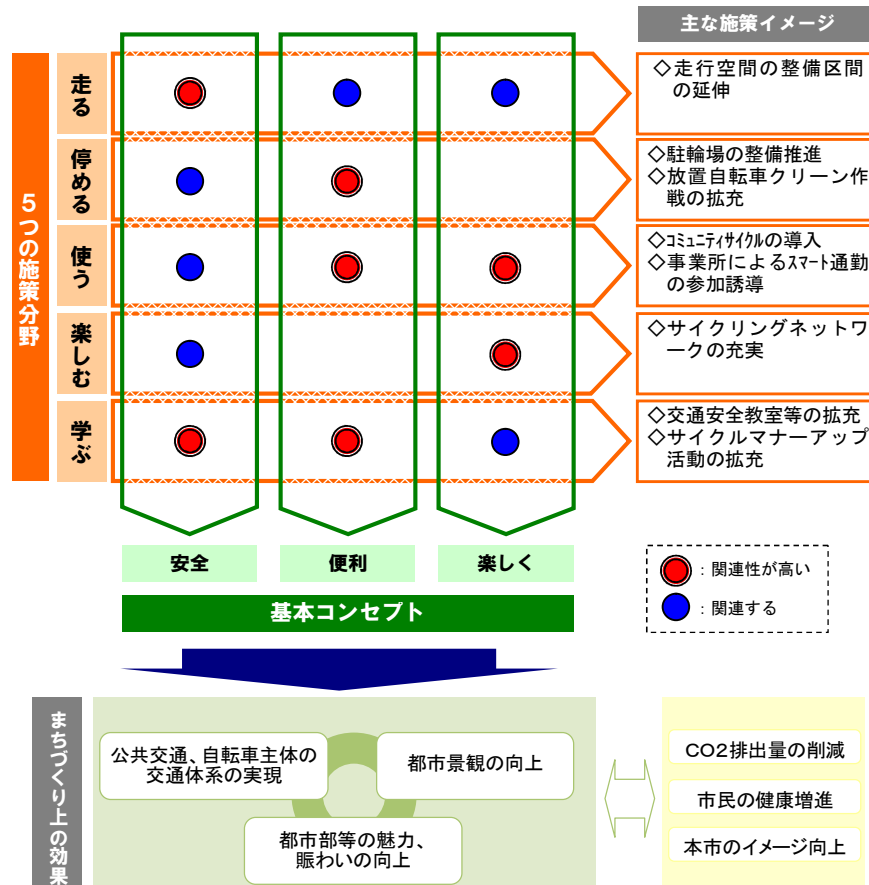
「自転車先進都市おかやま」を確立するためには、上記コンセプトを満たしつつ、以下の2点が実践されることが重要である。

「走る」「停める」「使う」「楽しむ」「学ぶ」という5つの施策分野が、相互の連関のもと、高い水準で調和すること

“自転車”が街の風景として溶け込み、市民が『自転車先進都市』を実感し、認識を共有し、また先進都市市民として実践すること

### 2) コンセプトと5つの施策分野

コンセプトと取り組むべき5つの施策分野との関係に加え、波及的な展開が期待されるまちづくり上の効果を以下の通り整理し、これに沿って施策を進めてきた。



## 1-2 実行戦略の実施策

自転車先進都市を実現するため、実行戦略における5つの施策分野毎に目標達成に向けた14の実施策を設定し、施策間の相互連携に留意しながら、短～中期（フェーズ1～2）において取組みを行ってきた。

表 実行戦略の推進プログラム

5つの 施策分野	実施施策	フェーズ1 ～3年	フェーズ2 ～5年	フェーズ3 ～10年	関係者		
					行政 関係機関	民間	利用者
走る	路線状況に応じた安全な走行空間整備	整備			○		
	適正な利用を誘導するためのサイン整備	整備			○		
停める	利用ニーズに対応した駐輪施設整備	整備			○	○	
	既存駐輪施設の運用見直し等による利用促進	実施			○		
	施設整備と連動した放置自転車への規制強化	検討	実施		○		
	民間による主体的な施設整備の促進	検討	実施		○	○	
使う	コミュニティサイクルの導入	導入	必要に応じ充実を検討		○	○	
	自転車の公共交通への持込み促進	検討		実施	○	○	
	モビリティマネジメントによる自転車利用の推進	継続・拡充			○	○	○
楽しむ	サイクリングネットワークの充実	検討	整備		○	○	
	自転車利用シーンの拡大	検討	実施		○	○	○
学ぶ	関係機関との連携による自転車マナーの向上	継続・拡充			○	○	○
	自動車ドライバーに対する啓発活動の推進	実施			○	○	○
	情報発信による「自転車先進都市おかやま」の推進	実施			○	○	